入院診療計画書

やわたメディカルセンター

入院日：　　年　　月　　日　　病棟：　　号室　　西暦　　年　　月　　日

病名・症状：　　パス名：　　担当医：　　印　看護師：

担当看護師：　　担当薬剤師：　　担当栄養士：　　西暦　　年　　月　　日

総合的機能評価：　　患者様・ご家族様サイン

期　間	No	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
経　過		手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1～2日	術後3日	術後4～6日	術後7日	手術後8日～退院まで
看護計画	P	#1　非効果的行動計画リスク状態	#2　心臓組織循環減少リスク状態（ペースメーカー） #3　手術部位感染リスク状態	#2　心臓組織循環減少リスク状態（ペースメーカー） #3　手術部位感染リスク状態 #4　ヘルスリテラシー促進準備状態	#2　心臓組織循環減少リスク状態（ペースメーカー） #3　手術部位感染リスク状態 #4　ヘルスリテラシー促進準備状態	#2　心臓組織循環減少リスク状態（ペースメーカー） #3　手術部位感染リスク状態 #4　ヘルスリテラシー促進準備状態	#4　ヘルスリテラシー促進準備状態	
アウトカム	P	オリエンテーションが理解でき治療が受けられる	・安静度を守ることができる ・出血や痛み、胸部症状があればナースコールを押すことができる	・安静度を守ることができる ・出血や痛み、胸部症状があればナースコールを押すことができる ・ペースメーカーの指導を受けることができる	・安静度を守ることができる ・出血や痛み、胸部症状があればナースコールを押すことができる ・ペースメーカーの指導を受けることができる	・安静度を守ることができる ・出血や痛み、胸部症状があればナースコールを押すことができる ・ペースメーカーの指導を受けることができる	・入院予定期間で退院できる ・自己検脈ができる ・退院後の生活が理解できる	
活動・安静度	P	・病院内自由です （症状によって制限があります） 	・病室に帰ってきたら1時間はベッドで安静にしてください ・1時間後に自分で座ることができます	・病棟内自由です			・心電図モニターを外します	
治療・処置	P	・検査衣に着がえ、指輪義歯、時計等は 外してください ・手術予定の1時間前より点滴を行います ・1階の血管造影室で行います ・手術室へはベッドで移動し看護師が御一緒します	・手術した方の腕は肩より上には上げられません（約1ヶ月間です）		・バンドを外すことができます		・傷の確認を医師が行います	
検査	P			・胸部レントゲン ・心電図			・ペースメーカのチェックをします ・ペースメーカーチェック後に心電図、レントゲンの検査がありますペースメーカー手帳を渡します	
説明・指導・栄養・服薬	P	・入院について治療についての説明があります ・飲んでいる薬があれば看護師にお伝えください ・眠れなかったり胸が苦しい時は遠慮せず看護師にお伝えください		・ペースメーカーパンフレットを渡す ・ペースメーカーのパンフレットを使用して学習をしていきます	※MRI対応可能のペースメーカーを埋め込みした場合「条件付きMRI対応カード発行依頼書」をお渡ししますので、記入後看護師に渡してくださいカードは再診日にお渡しします			
栄養(食事)	P	・昼食以降の水分は摂ることができません ・特別な栄養管理の必要性 （ 有 ・ 無 ）	・帰室後、1時間から飲水ができます ・夕食は、術後の合併症などなければ開始となります					
排泄	P	※状況によっておしっこの管を入れる場合があります ・あらかじめおしっこの管を入れることを希望される方は遠慮せずに看護師にお知らせください	・帰室後1時間後からポータブルトイレが使用できます	・トイレで可能です				
清潔	P	・入浴は可能です	・手術後は入浴できません	・清拭かシャワーができます			・退院前日に半身浴までできます ・循環器内科再診日までは半身浴までです	